

あなたに ハッパッチ!

リレーエッセー⑬

楽しんでる私



藤原 あやのさん
(西野添)

自己PR 「丈夫で長持ち」が私のキャッチフレーズです。楽しんで物事をやっています

私は今、ボランティアアグリ・ブ・ライフケアー「なでしこの会」の代表と「ヘルスアート自彊道」の講師をしています。

自彊道は、誰でも、どこでもできる健康体操です。この体操のおかげで風邪もひかずに健康で、いろいろな活動ができています。できる間はこの体操をずっと続けていきたいと思っています。

一方、「なでしこの会」では、16人の仲間と一緒に高齢者の居場所づくりの「ほんわかサロン」「子育て中の親子が集う」「にっこサロン」、誰でもお茶を飲んでおしゃべりのできる「おしゃべりサロン」などをやっています。そのほかに有償の家事援助

ヘルパーの派遣もやっています。サロンに来られる皆さんは、誰かとおしゃべりをし、楽しいひと時を過ごしたいと思ひ、来られているようです。そんな活動の場所として野添「ミセン」の北側に3年前「なでしこの家」を建てました。「なでしこの家」で活動していて、私はいろいろな人々と出会い、話をし、感じることもや教えられること、考えさせられることがたくさんあります。

「なでしこの家」では、「なでしこの会」の活動のほかにバイオリンや琵琶の演奏家を招いてのワンコインコンサート(年2回)、近所の方の協力を得ての

「あちこち雑まつり」(2月下旬)などもやっています。サロンの活動をする時もイベントをする時も、人を楽しませるだけでなく自分も楽しんでしまうので楽しくできます。また、なでしこの仲間がいるのでいろいろな活動ができています。

これからやってみたいことは週に数日しか開いていない「なでしこの家」をもっと活用して、いつ行ってもおしゃべりができるように、隣にある畑では季節の野菜や花を作り、それらをお茶が飲めるような地域のサロンにして、隣にある畑では季節の野菜や花を作り、それらを使って食事やおやつ作りをしてみんなで食ったり、フリーマーケットや収穫祭などのイベントも行いたいです。とにかくたくさんの方が集まる場所になるような活動をしていきたいです。

11月16日(月)、播磨幼稚園で、久々にひととき大きな歓声があがりました。

耐震補強工事のため、園児たちは播磨小学校の一隅で過ごしてきましたが、待ち望んでいた真新しい園舎に戻ることができ、先生や友達と喜び合いました。

この工事につきましては、耐震診断の結果、かなりの箇所を改修しなければならぬということになり、大がかりな工事になりました。その上、必要な箇所を解体する度に予測できなかったことが次々と判明し、かなりの期間の工事延長が必要となっていました。

そこで、播磨幼稚園の園児と播磨小学校の児童の教育を何よりも最優先に配慮したことで、議会の手続上、不手際が生じてしまいました。また、議会のご理解をいただき園舎が完成いたしました。不手際をお詫び申し上げますとともに、関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

播磨町教育長 藤原 眺美

待望の幼稚園・園舎が完成!



よく学び よく育つ

播磨町教育委員会

学校支援地域本部事業にご協力を!

播磨町学校支援本部事業

地域コーディネーター 木戸 攻

平成19(2007)年の全国学力・学習状況調査と昭和39(1964)年の全国テスト調査を、社会環境を加えた大阪大学大学院の分析によると、家庭や地域のつながりが緊密に残った場所ほど、子どもの学力が高いとわかりました。(毎日新聞記事より)

都市化や核家族化、地域社会における人間関係の希薄化などは、家庭の経済要因より影響が大きいです。子どもの健全な育ちには、家庭の教育力の向上とともに、地域の教育力の向上が、欠かせません。

私が小・中学生であった1950年代は、どの地域においても何人かの「こわいおっちゃん」がいました。この「おっちゃん」がしてはいけないことを、結構教えてくれたように思います。また、学校で行事があれば、地域をあげて、参加していました。

学校教育にも家庭教育にも地域社会は大きな影響力をもっていたように思います。

昨年、文科科学省の委託による、学校支援本部事業が開始され、播磨町でも学校支援実行委員会を設置し、現在、延べ148人のボランティアの方々に登録をいただいています。小学校での読み聞かせ、登下校指導、図書室の整理などに活躍していただいています。

従来から、ご協力いただいています。この事業を機にさらに目や足を学校に向けて頂き、学校教育及び地域社会の教育力向上にご協力とご支援をお願い申し上げます。



『地域の青少年』は『地域が守る』 播磨町少年補導委員会

近年、青少年の問題行動は、低年齢化・粗暴化・広域化(ネット上のトラブルや事故)してきました。青少年の非行化を早期に発見し、犯罪の未然防止に努めること、また、犯罪から青少年を守ることが大

人社会の責務がもたせません。しかし、ネット上のトラブルや事故に関しては、他者が介入することがきわめて難しく、ご家族の理解と協力を期待するところです。非行化の早期発見、犯罪の未然防止、そして、青少年を犯罪から守るため、播磨町では現在16人の補導委員が活動しています。



パトロール前の打ち合わせをする補導委員

- ご存知ですか？ 補導委員の主な活動
- ・毎月定例の町内パトロール
 - ・町行事、学校行事などにおけるパトロール
 - ・長期休業中、年末の特別パトロール
 - ・環境浄化、啓発活動
 - ・研修会参加

補導委員さんの声

子どもたちが安全で健全な明るい生活ができるまちを維持していきたい。また、不慮の災難や事件に巻き込まれることのないよう地域パトロールを積極的にを行い、子どもたちを守ってきたい。

私たちは、青少年の非行防止・健全育成を図るために活動し、また、彼らの人権を尊重しながら活動するよう心掛けています。近頃は、青少年が被害者になる凶悪事件も多発しており、「地域の青少年」は「地域が守る」という思いで補導委員全員で積極的に活動しています。

私が補導委員をするきっかけは、我が子の小学校入学です。播磨町は子育てをしていく上で、とてもよい環境であり、その環境を維持していくためのお役に少しでもなれればと思います。

私が補導委員として心掛けていること

など

とは、青少年に温もりをもって話しかけ、関わることです。しかしながら、彼らの心を傷つけていないか日々反省しています。そして、この活動を通して播磨町の地理にも詳しくなりました。

夜間散歩く子どもたちが犯罪に巻き込まれないようにすること、また、声かけなどをしていくことで非行防止に努めること、これらが私たち補導委員の最低限の役割だと考えています。

私は、補導活動というよりも地域の子どもと安全と防犯の目的で、夜間、公園などにいる若者(こいばなし)と挨拶をして、一声二声かけて注意を促すようにしています。これからも、地域の子どもの安全のために、「見守り」と「声かけ」を続けていきたいと思えます。皆さんも、補導委員として私たちと一緒に活動しませんか。

定例のパトロール

毎月定例日午後8時前になると、補導委員の皆さんが役場第1庁舎に集まってこられます。1日の仕事を終え、集まってこられる姿に使命感と責任を感じます。(右頁写真①)

8時10分から1時間あまり、補導委員が4班に分かれ、自転車やパトロールに出ます。(写真②)

このパトロールで、神社、公園、学校その他の施設、コンビニなど、ほぼ播磨町全域を巡回します。(写真③④)

青少年は地域の宝

播磨町では、少年補導委員さんの他、約450人の学校安全ボランティア・スクールガードの皆さん、354軒のこともを守る家の方々が活動されています。町内すべての皆さんの力で、非行のない明るく住みよい町づくりに努め、「安心・安全な町・播磨町」を構築していきましょう。



② 自転車に乗り込んで一斉に出発します



③ 町内を4つの班に分かれて、くまなく巡回します



④



⑤ 気付いたことは巡回日誌に記録

私たちと一緒に活動しませんか



▼問い合わせ 補導委員についての問い合わせは、播磨町教育委員会学校教育グループまでお願いします
学校教育グループ
☎079(435)0545

☎079(435)0545

「あ・ひ・る」で心あったか



▲紙芝居で学ぶ「人権」

播磨小学校 2年生

人権擁護委員の方々に、紙芝居やお話をいただきました。 「あ・ひ・る」の「あ」は、あいさつをする。「ひ」は人の話を聞く、「る」は、ルールを守る。

「人権」と聞くと、ちょっと難しく考えてしまいそうですが、分かりやすく、心に残る言葉で教えていただき、子どもたちは、「なるほど」「そうすれば、みんな気持ちがいいんだな」と納得した顔でした。 また、冊子や紙芝居を使ったお話では、自分たちの身近にもある場面を、自分ならどうするだろう、と日頃の生活を振り返りながら、友達を大切にすることを考えることができました。 また、サククスとキーボードで子どもたちの知っている音楽を演奏していただき、頭と心がとても温かくなる時間をもつことができました。



音楽会



▲緊張したけど元気に歌えました

蓮池小学校 1年生

11月14日(土)、練習の成果を発表する音楽会の日。朝から緊張感が漂う教室で出番を待ちます。

演奏した曲は、合唱「おかしな魔法使い」「アイスクリームの歌」、鍵盤奏「不思議なポケット」、合奏「おもちゃの兵隊」です。こわばった顔での体育館への入場になりました。でも、歌を歌い始めると、元気いっぱい歌声が響きました。合奏では、鍵盤ハーモニカ、木琴、鉄琴、太鼓、シンバルなど色々な楽器の音色が合わさり楽しい演奏ができました。退場の時には、ほっとした気持ちとやりきった気持ちが表情に出ていて、とてもいい顔でした。

1年生みんなの気持ちが一つになり素晴らしい音楽会になりました。

思いっきり響かせた合唱



▲文化祭は中止になったけど…

播磨中学校

新型インフルエンザが猛威をふるい、楽しみにしていた文化祭が今年は残念ながら中止になってしまいました。

しかし音楽の時間や放課後、一生懸命練習してきたクラス合唱は学年ごとに発表したいと、10月から11月にかけて各学年で合唱コンクールを行いました。練習を始めた頃は音程をとるのが難しくパートだけで歌っていても曲の全体像がつかめずしんどかったのですが、他のパートと合わせ出すとだんだん合唱がおもしろくなり、すっかりそのとりこになってしまいました。校舎中にさわやかに響く歌声は、聴く人の心をなごませてくれます。 私たちはみんなで力を合わせる素晴らしいものが出来るのだということ、この合唱コンクールで味わいました。



風邪になんか負けないぞ!!



▲今日の体操は「エビカニスク体操！」

蓮池幼稚園

「おはようー!一緒に行くー!」今日はちよっぴり寒いけれど誘い合って、なかよし広場に集合です。保育園のお友達も一緒に体操をして、マラソンも始まり、体もポカポカしてきます。年少さんも、この頃カラガラうがいも上手になって、のどのばい菌をやっつけています。年中、

年長さんは乾布摩擦でこしこし体を強くします。仕上げは足の指をクチュクチュ!こうして今日も、風邪になんか負けない元気もりの蓮池っ子の一日が始まります。



年長さんは乾布摩擦でこしこし体を強くします。仕上げは足の指をクチュクチュ!こうして今日も、風邪になんか負けない元気もりの蓮池っ子の一日が始まります。

大中遺跡まつりに参加して



▲吹奏楽部も花を添えました

播磨南高等学校

汗ばむような快晴の中、大中遺跡まつりが行われました。今回播磨南高校生徒会から3人、6月頃から企画委員として参加させていただきました。約半年間、企画会議に出席し、意見交換に参加させてもらい、当日まで本当に貴重な体験をすることができました。悩んで悩んで考えた企画を当日実行し、老若男女を問わず、たくさんの方々の笑顔に出会えたことが何よりうれしかったです。

生徒会企画のみならず、本校からは吹奏楽部をはじめ、スタッフとして多数のボランティアが参加しました。 そうした数多くの見えない支えが大きな力となり、すばらしい成果につながったと思います。本当にありがとうございました。



“生け花”って楽しいよ



▲こんなふうに生けてみようかな

播磨中央保育園

「今日は、生け花の日だね」と年長児の子どもたちは、毎月の伝統文化教室(生け花)の日を楽しみにしています。

小原流一級家元教授、安井豊恭先生に「お願いします」と元気にあいさつをし、その日の花材に合わせて、立てるかたちにするか、傾けるかたちにするかを思い思いに決めます。また「どの花を主枝にしよう?」客枝はこれ、中間枝はこの葉がいいね」と真剣な表情です。4月当初に比べて、上達した子どもたち。先生が驚かれるくらい「お花の表情がいいね」とほめていただけるようになりました。

保護者の方と一緒に作品を観ながら「上手に生けられたね。持って帰って、また生けてね」との言葉に満面の笑顔です。 四季折々の花に触れ「きれいな」と素直に感動する子どもたちに、自然のすばらしさを改めて感じる一日です。